

概要版

そ な た が

まちを守るって？

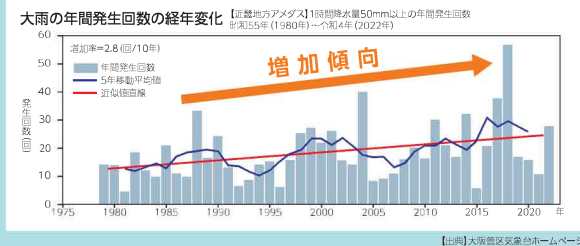
～ 自分たちと地域の暮らしを守る ～
尼崎市総合治水対策基本ガイドライン



浸水って
増えてるの？



雨の降り方の変化



+

土地利用の変化



その結果

浸水被害の増加!



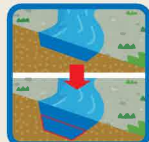
どんなことが出来るの？



ながす
対策



堤防を強くする



川を深くして
多くの水をながす



下水管を
更新する



ポンプの能力を
たかめる

ためる
対策



校庭でためる
(校庭貯留)



公園でためる
(公園貯留)



家でためる
(各戸貯留)



地中に浸透させる
(ガラスパーキング)

そなえる
対策



多層的な情報伝達



ハザードマップを
確認する



日頃からの
備蓄の用意



災害に備え
訓練をする





どのような 対策をするの？



基本理念

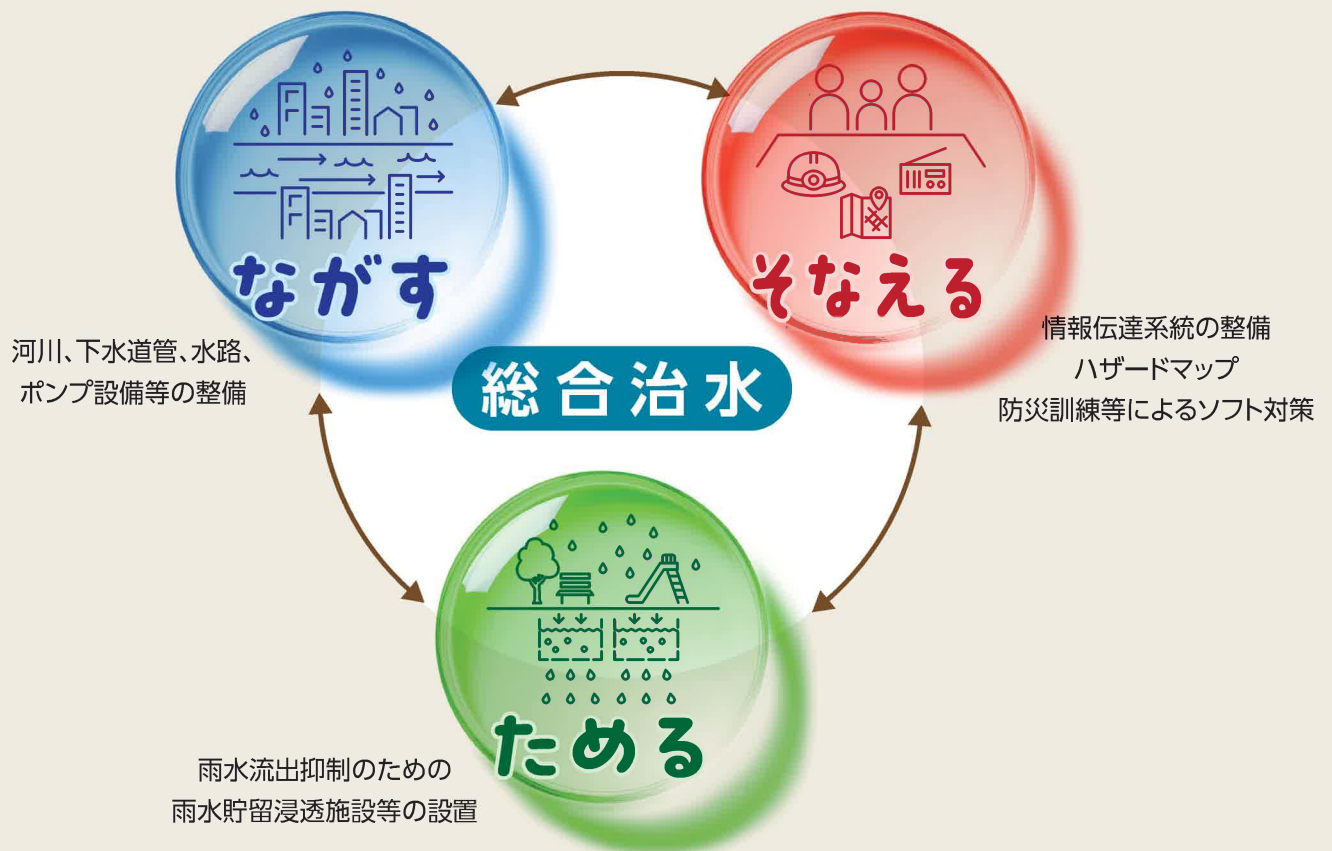
『ながす』、『ためる』、『そなえる』を組み合わせることにより、降雨による浸水の発生を抑制し、浸水被害を軽減することを目標とします。

- 行政、市民、事業者が相互に連携し、協働して進めます
- 環境の保全と創造に配慮し取り組みを進めます

市民、事業者、行政で
連携することが大切



浸水被害が拡大している状況に対応するため、これまでの川幅を広げたり、下水道管を設置する等の『ながす』対策だけではなく、雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる『ためる』対策や、浸水してもその被害を軽減する『そなえる』対策を組み合わせた『総合治水』に取り組んでいきます。





ながす 対策って？

河川・下水道整備

大雨が降った際、多くの雨水を流せるように、河川断面の拡幅工事や古くなった下水道管及び雨水ポンプの改築・新設を進めるものです。

河川の整備

■ 河川の堤防・護岸改修と河床掘削

壊れないように強く、より多くの水を流すために老朽化している護岸の改修及び河床掘削を行うことにより、安全に流下可能な河川断面への整備を行っています。



■ 抽水場の整備改築

本市は市域の約1/3が海水面下で、自然排水ができない雨水等を強制排水するため整備改築を進めています。



下水道の整備

■ 下水道施設を改築

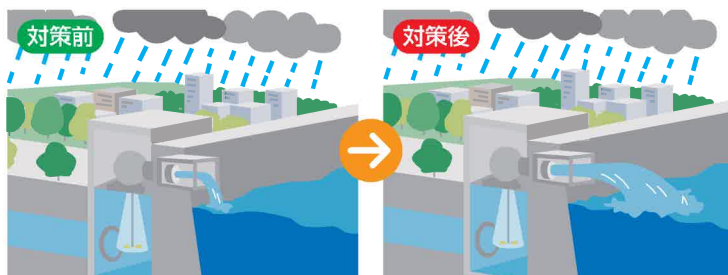
下水道施設の効率的な改築更新を行い、現状の雨水排水能力の維持に努めます。



補強・リニューアルを行った下水道管

■ 下水道施設の能力増強

ポンプ能力の増強を行い、河川への放流量を増やします。一方、河川への放流量を増やすことができない区域では、一時的に貯留する雨水貯留管等の施設を整備します。



ポンプ能力を増強すると雨水を河川へ吐き出す量が増えます。





ためる 対策って？

雨水貯留浸透施設等の設置

大雨が降った場合に、雨水をためる対策であり貯留施設や浸透施設等の整備を市民、事業者、行政において進めるものです。

雨水貯留施設

■ 校庭・公園貯留

一定以上の雨が降った時に、校庭や公園に雨水を一時的に貯留します。



■ 雨水貯留タンク

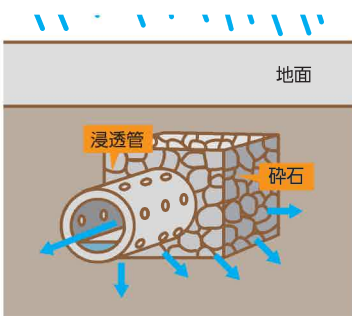
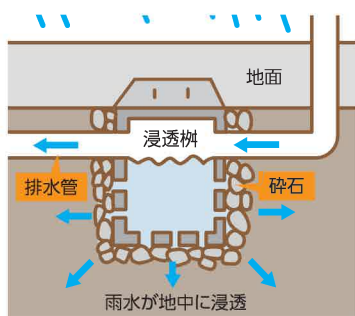
雨水貯留タンクは、建物の屋根に降った雨を雨どいから集め貯めるタンクです。(助成制度があります)



雨水浸透施設

■ 浸透枳・浸透管

雨水管や雨水枳の穴から、雨水が地中に流れ出ることにより、地下に浸透させることができます。



■ グラスパーキング

グラスパーキングとは、芝生等で緑化した駐車場のことで、降雨時の地面への浸透を促進し、排水施設への負荷軽減を図るものです。



雨水貯留浸透施設

■ 雨水貯留浸透ブロック

庭などにプラスチック製雨水貯留浸透ブロックを埋設することで、地面に染み込んだ雨水を一時的に貯留し、下水道管へ流入する雨水量を減らし、浸水被害の軽減につながります。貯留槽に貯留された雨水は、雨が弱まるにつれて徐々に排水されていきます。





そなえる対策って？

情報発信・防災訓練・啓発活動

大雨による災害へそなえるための対策であり、行政からの情報発信等や、市民、事業者、行政が協働して防災総合訓練や啓発等を進めるものです。

防災情報の発信

■ 案内板・誘導板



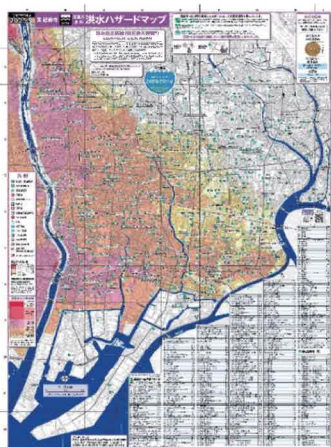
■ 多層的な情報伝達



防災訓練・啓発活動

■ 洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップは洪水による被害を想定し、浸水範囲と浸水深などを示した地図です。



ハザードマップ
尼崎市ホームページ



■ 各種訓練の実施・支援

尼崎市では、年に一度、自衛隊・警察・医療機関・ライフライン事業者などの防災関係機関との連携体制の充実を図るため、尼崎市防災総合訓練を行っています。



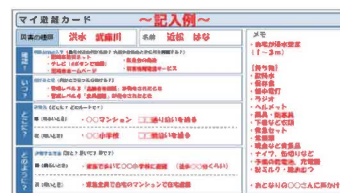
また、地域の自主防災会の活動を支援し、地域主催の活発な自主防災活動が行われるよう働きかけていきます。

防災訓練
尼崎市ホームページ



■ マイ避難カード

マイ避難カードは、一人ひとりができる災害の備えとして、「いつ(避難のタイミング)」、「どこへ(避難先)」、「どのように(避難する方法)」などを事前に考えておき、カードにまとめたものです。



尼崎市では、市民の多様な避難行動の促進のため、市政出前講座や地域の防災訓練、地域のイベントなど様々な機会を通じて、子どもや親世代、事業所の従業員などを対象に、さらなる普及啓発の取組を進めています。

「マイ避難カード」を作いませんか？
～事前にできる風水害への備え～
尼崎市ホームページ





自分たちって何ができる？



市民、事業者のみなさんができること

民 市民 事 事業者

できること	やり方
ためる対策	屋根に降った雨を集めてタンクにためる(各戸貯留) 雨水貯留タンクの設置 助成あり
	水田に降った雨の排水を抑制し水田にためる(水田貯留) 堰板の設置
	道路等に降った雨を穴の開いた雨水管や雨水枡から地中へ浸透させる 浸透枡、浸透管、透水性舗装の設置
	駐車場等に降った雨を地表から地中に浸透させる グラスパーキングの設置
	庭等に降った雨を一時的に貯め、徐々に地中へ浸透させる 雨水貯留浸透施設等の設置
そなえる対策	災害に備え、防災情報を取得する 防災アプリ、各種SNS等の登録
	住んでいる場所の浸水リスクや近くの避難場所等の防災情報を知る 日頃からハザードマップを確認しておく
	避難時の心構えや避難方法等について考える 自主防災会等が実施する防災訓練への参加 助成あり
	災害時の備えや備蓄しておくものなど、防災知識を身につける 防災セミナー、市政出前講座等への参加
	地域防災の担い手である自主防災会のリーダーを目指す 助成制度を活用し、防災リーダー講座を受講 助成あり
	災害時にとるべき行動を、あらかじめカードにまとめておく マイ避難カードの作成
	大規模災害に備え応援体制を構築する 災害時応援協定の締結
	大雨時に家庭からの排水が下水道へ流れ込むのを抑える お風呂の水を捨てない、洗濯はなるべく控える等



まちを浸水から守るために行政は「ながす」、「ためる」、「そなえる」すべての対策に関わります。みなさんも一緒に「ためる」、「そなえる」対策でまちを浸水から守りましょう！



発行元 尼崎市 河港課 下水道計画課

ホームページはこちら→

